地域の活力!

農商工連携フォーラム

入場無料

日時 2008年7月3日（木）
13：00 ▶ 16：00（12:30 開場予定）

場所 東京国際フォーラム　ホール B5
東京都千代田区丸の内 3-5-1
JR・東京メトロ有楽町線 有楽町駅より徒歩1分
JR・東京メトロ丸の内線 東京駅より徒歩5分
定員 400 名

ナビゲーター　八塩　圭子

開会挨拶
13：00 ～ 13：10　農林水産大臣　若林 正俊　経済産業大臣　甘利　明

授与式
13：10 ～ 13：25　**農商工連携88選 認定証授与式**　両大臣から代表者に対し認定証の授与を行います。

第 1 部　トークセッション
13：30 ～ 14：30

付加価値とオリジナリティを創造する“農商工連携”

全国を代表する先進企業2社のトップが、経済産業大臣とともに新事業創出の可能性や地域活性化への期待を語ります。

〈出演者〉

経済産業大臣　甘利　明

片山りんご株式会社 執行役　山野　豊氏

［青森産りんごを世界へ］
商社を介さない直接取引を目指し、グループ生産者46名と「岩木山りんご生産出荷組合」を組織化、弘前商工会議所やJETROと連携して輸出を実現。また欧州の基準であるユーレップ GAP を2004年に取得、トレーサビリティ確保のため IC タグなどの輸出技術を日本電気と連携して実現している。

株式会社平田牧場 社長　新田 嘉七氏

［米を飼料にしたブランド豚］
平田牧場のある酒田市、隣の遊佐町、JA庄内みどり、稲作農家、生活クラブ生協、山形大学などが連携。米農家の活性化と国内自給率アップを目指し2004年に「飼料用米プロジェクト」を立ち上げ。地元・庄内地方の米を使った『こめ育ち豚』は安心安全、美味しい豚として都心でも評判。

第 2 部　パネルディスカッション
14：45 ～ 16：00

事例に学ぶ“農商工連携”

連携への挑戦を、事例で詳しくご紹介。地域ブランド戦略に詳しい田中氏がビジネス成功のポイントを分析します。

〈パネリスト〉

江別麦の会 会長　片岡 弘正氏

［地場産小麦から作る高品質の麺］
江別の小麦生産者、製粉・製麺会社、研究機関、大学、JA、行政などがネットワークを形成。需要が高いが生産が難しく多産できなかった国産小麦「ハルユタカ」が“初冬まき”の成功で収穫アップしたことをきっかけに、地域ブランド『江別小麦めん』ができ、生産から加工、流通まで様々に動き出している。

株式会社協同商事 社長　朝霧 幸嘉氏

［川越芋からできた地ビール］
協同商事が中核となり、川越地区の名産・川越芋を使ったビール開発を実施。原料栽培（農業生産者）、加工（農事組合法人）、商品製造（製造業者）、パッケージデザイン（デザイン会社・大学）の4者がそれぞれの強みを活かして連携。2007年にはモンドセレクション最高金賞を受賞。

〈コメンテーター〉

株式会社ブランド総合研究所 社長
田中 章雄氏

［プロフィール］ 東京工業大学卒。日経BP社を経て、2005年に地域ブランド戦略・販路開拓を行なう（株）ブランド総合研究所を設立。

お問い合わせ
お申し込み
農商工連携フォーラム事務局　TEL：03-3585-9931　FAX：03-3585-9962
http://www.smet.jp/noshoko/

事務局FAX：03-3585-9962

FAX用参加申込用紙

お申込締切 6月20日

下記項目にご記入の上、事務局宛にFAXをお送り下さい。

（フリガナ）
氏名　　男性・女性

住所

電話番号　　メールアドレス　　@

勤務先　　所属部署・役職

※ お預かりした個人情報は厳重に管理し、法令などに基づく場合を除き第三者に提供いたしません。